

2023年度 小樽歯科衛生士専門学校
学校関係者評価

学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する
「愛と知と技を備えた」

項目	評価
建学の趣旨と教育の方針	ホームページ、SNSなどの利用を活性化するなど、周知の向上を図っていく努力をすること。
学校運営	教職員の更なる連携が必要と思われる。 非常事態時には危機管理マニュアルにそった適切な対応が必要。 コンプライアンスやハラスメントに関して、より一層適切な対応をすることが必要になる。
教育活動	講義担当者については、歯科衛生士教育に適した人材の確保、育成が重要。 教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換を積極的に行うこと。 遠隔授業などを効果的に活用し学習の継続を図ること。 実習先との連絡を密にするとともに、実習先からの意見も取り入れること。 基幹教員の研修会参加を充実させ、スキルアップをはかる。
学修成果	国家試験は、初めて2名が不合格になったことを、重く受け止める。 国家試験の難易度が上昇する傾向のため、今まで以上に十分な対策が必要。 100%合格に向け、基幹教員と国試担当者の対面での具体的な協議の機会を持つことが必須と考えます。 進級について、学修習熟度の判断を、より一層、厳正とする必要がある。 求人票の見方、内容説明など、今後も適切な就職指導を行ってほしい。
学生支援	担任、担当職員との個人面談等で個人に合わせた指導方法を行ってください。 退学者を出さないような取り組みが必要です。 健康管理についても、学生の動向に注意をはらっていくことが大切である。 卒業後のフォローとして、歯科医師会や同窓会との連携が必要と考えます。
教育環境	教室の音響設備、オンライン授業の設備については、効果的に活用ができる方法等を充実させてください。 実習室の修理や整備等の対応を行う必要があると思います。
学生募集	学生募集活動はやや回復傾向ではありますが、入学生が17名と少ない結果に終わりました。厳しい状況は続くと考えられますが、オープンキャンパスや高校訪問、進学相談会など、今後の状況を鑑みて計画、実施、参加してください。HPの充実と、SNSなども対象者が興味を持つよう効果的に活用し、知名度のアップ、入学生の増加につながることを期待しています。
財務	新入学者が17名ということで、収入が減少します。3年連続で入学者が少ない状況ですので、次年度の入学者増への努力を重ねてください。 物価や光熱費の高騰が顕著です。今後もこの傾向は続くと思われるので物品購入など節約を心がけてください。